

事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		・限られたスペース故に活動の同線や配置を職員一同で意見を出し合い工夫をしてスペースを利用しております。	
	② 職員の配置数は適切である	8		・定数以上の職員配置を行っております。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		・段差はあるが、他はフラットでクッションマットを敷いているので安全です。 ・活動空間は分かりやすい環境となっていて、各々が過ごしやすい場所を見つけられるよう配慮を行っております。	・段差はありますが、都度声かけを行いスペース認識が出来るように配慮しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		・衛生管理はしっかりと行い、オゾン発生器を稼働させコロナに対する配慮もしております。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8		・日々児童の状態を見て考え、職員全員で共有し実行できていると思います。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		・毎年評価を頂き、しっかりと周知し業務改善に繋げていけるようにしております。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		・行っております。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1		・現在検討中です。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・内部研修は毎月行い、外部研修はその都度の議題を見て現状と照らし合わせて必要性のある物は必ず参加させて頂いております。 ・お知らせ毎に目を通し、参加させて頂くべき課題は出席させて頂いていただいております。	
⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		・児童や保護者様のニーズを把握し、相互確認を行いながら作成しております。		

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		・行っております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		・行っております。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		・行っております。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		・職員同士の意見交換を行い、直近の課題等も踏まえ、チームで行っております。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		・保護者様からの要望やアンケートの内容で可能な限り実行していると思います。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8		・行っております。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		・朝礼を行い、当日の配慮や注意点等を確認しております。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		・支援開始前や後だけでなく、どのような時間でも職員間で話を共有し、支援に繋げていると思います。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		・行っております。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		・行っております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		・管理者・児童発達支援管理責任者での対応を行っております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		・子供たちが関わっている医療機関との報告・連絡・相談共に行っております。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	1	・該当ではありません。	○該当児童無し
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	1	・医療的ケアが必要なお子様の受け入れはありませんが、錠服薬のあるお子様の状況により受診同行を行っております。	○該当児童無し
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		・行っております。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		・行っております。	

	⑲	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	3	・研修のお知らせ等を頂き、お預かりのお子様に応じた研修等参加させて頂いております。 ・今年度はコロナ禍において自粛もございましたが、又参加させていただきたいと思っております。	○コロナ禍で難しいです
	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	3		●交流を望んでおられない保護者様もおられるので、今のところ一般の方も利用される公共の場でのレクリエーション等を組み込んでおります。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8		・児童や保護者様のニーズにお応えし、関係者・機関との連携に努めております。	
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		・保護者様との連絡が常にとれるようにしており、オンタイムで色々な話をさせていただき共通理解につとめています。	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8		・ペアレントトレーニングの構成はしてはおりませんが、その都度のテーマや課題に対し情報共有をし、家庭と連携し同じ支援を行う等の支援プログラムを組み立てております。	
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		・行っております。	
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		・行っております。	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		・保護者様との連絡が常にとれるようにしており、オンタイムで色々な話をさせていただき共通理解につとめています。	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	2		・通常であれば毎年6月に保護者会を開催しておりますが、昨年度はコロナ禍において自粛させていただきました。 ・3月の卒所修了式におきましては、衛生管理の徹底とともに安全面への配慮を最大限に行い開催させていただきました。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		・日々の送迎の際や連絡帳やライン等で今困っている事や、気になる事などの情報共有をさせて頂き、迅速な対応を行っております。	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		・毎月5日に空通信を発行しており、1ヶ月の振り返りや翌月の予定等をお伝えさせて頂いております。	

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	8		・行っております。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		・カードを使用し意思表現方法としたり、保護者様とお話しした内容は直後に書面にし、振り返りやすくなるよう配慮しております。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3	・望んでおられない保護者様もおられますので、どちらとも言いつらい現況でございます。	○コロナ禍で難しいです
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		・非常事態毎マニュアルを定め、保護者様にもお伝えをしております。半年に一度の実地訓練等も行っております。	○コロナ禍において今一度再認識すべきだと感じ、保護者様に再発信致します。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		・半年に一度の実地訓練も行っております。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		・保護者様ときちんと確認し合い、ドクターの指示に基づき学校とも連携して行っております。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	・医師の指示書がないお子様なのですが、アレルギー検査結果をきちんと周知し、保護者様の指示に従い対応をさせて頂いております。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		・ヒヤリハットは職員で共有し、予測事項としても捉え支援をさせて頂いております。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		・虐待についてしっかり周知し、お預かりの児童生徒が虐待を受けていないのかの認識を持ち支援にあたります。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		・身体拘束は原則行いません。情緒の不安定から自身でのコントロールが出来ない場合、他のお子様の安全を考え、職員がしっかりと手を繋ぎ抱きしめ、スキンシップを行い一時的な行動制限を行う場合があります。事前に保護者様にご説明させて頂き、同意書を頂いております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。